

後発医薬品使用状況と患者モニタリング



鍛冶内大輔 小畑信子 紺野明子 佐藤博美 佐藤美緒 佐藤幸
佐藤隆 長谷川重 柳沼久美子 齋藤賢一 田口章

目的

- ・後発医薬品使用状況の把握
- ・変更患者のモニタリング結果の報告

方法

(Ⅰ) 後発医薬品使用状況の把握

◆H20.4に受け付けた処方箋を調査し、全処方箋のうち、1品目でも変更可能な処方箋割合、および後発医薬品処方箋比率を算出した。

◆変更なかった処方箋のうち200例は再発症あり、変更なかった理由について原因分析を行い調査を実施した。

(Ⅱ) 後発医薬品変更患者に対するモニタリング

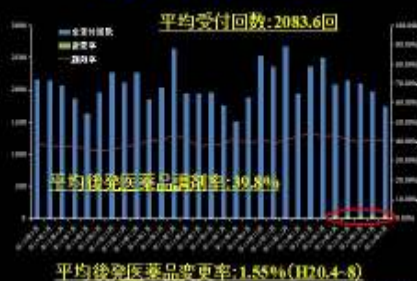
◆薬剤師が変更患者をフォローし、年齢、性別、併発疾患の患者情報とGEから他薬に変更した場合は、新特許薬に変更した旨の記載事項とし、データベース化した。

その他の情報も、電子薬歴(Tossum Pharmacy 2D)にて管理した。

変更状況(H20.4)



変更率・調剤率推移



薬効別分類(H20.4-8)



◆季節的な影響もあり、抗アレルギー剤が上位を占めた。
・イネケール(抗アレルギー)ロモロロン(抗アレルギー)
・アレジオン(抗アレルギー)

患者モニタリング

◆後発医薬品に変更後、他薬に変更した症例

⇒ (6例:16.2%)

患者ID	性別	年齢	変更前薬名	変更後薬名	変更理由
1	男	70	アタット	ニフェディピン	副作用
2	女	65	アレジオン	アレジオン	アレルギー
3	男	75	アレジオン	アレジオン	アレルギー
4	女	60	アレジオン	アレジオン	アレルギー
5	男	70	アレジオン	アレジオン	アレルギー
6	女	65	アレジオン	アレジオン	アレルギー

◆血圧降下剤を変更した後、血圧コントロール不良が原因で他薬に変更した症例がみられた。(4例)

◆抗アレルギー一点眼薬は、特に有害事象なし。

他店モニタリング状況

血圧降下剤: Risk & 処方頻度(高)!!

中止例: 2例(4.76%)

患者ID	性別	年齢	変更前薬名	変更後薬名	変更理由	中止理由
1	男	70	アタット	ニフェディピン	副作用	副作用
2	女	65	アレジオン	アレジオン	アレルギー	アレルギー

◆患者情報に際りうるアレルギー反応は、みられなかった。

◆2ヶ月間に、血圧コントロールが上手くいかず、中止の患者症例がみられた。(季節変動、生活スタイル等も含む)

継続的なモニタリング!

Point

- ◆変更率が1.62% → 小児科領域の処方箋が多かった。
 - ◆患者との関わり... → 内科領域の処方箋、変更可能な処方箋が多かった。
 - ◆患者との関わり... → 患者教育、モニタリング体制を強化し、患者の安全を確保する。
- ◆今後は、プログラムの一環であるGE情報提供体制を整備するためにも、GE使用稼働率を増やし、GE情報を付加し、新たなエビデンスを創出していかなければならないと思う。

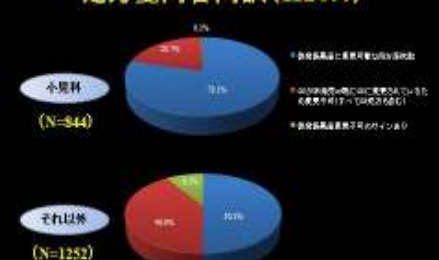
処方箋内容内訳(H20.4)



未届患者データ(H20.4)



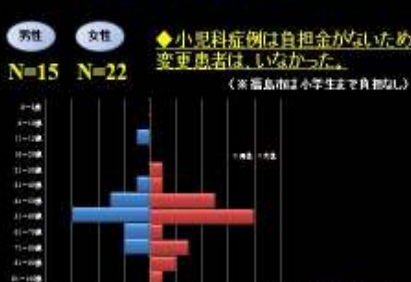
処方箋内容内訳(H20.4)



変更しなかった理由



変更患者(H20.4-8)



変更患者負担割合状況(H20.4-8)

